

平成27年度 新宿区中小企業景気動向調査票

平成27年4～6月期

問1 貴社の業況(※)は、今期(平成27年4～6月期)と来期(平成27年7～9月期)で、いかがでしょうか。それぞれ該当する番号に○を1つお付けください。

※貴社の景気、または貴社を取り巻く周辺環境などの状況からご判断ください。

今期(平成27年4～6月期)の業況					来期(平成27年7～9月期)の業況予想				
良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問1-1 問1の今期の業況判断の理由として、重要度の高いものを3つ以内で回答欄にご記入ください。

1 国内需要(売上)の動向	7 株式・不動産等の価格の動向
2 海外需要(売上)の動向	8 為替レート(の動向)
3 販売価格の動向	9 税制・会計制度の動向
4 仕入価格の動向	10 同業者間の競合
5 仕入れ以外のコストの動向	11 その他()
6 資金繰り・資金調達の動向	

回答欄

問2 売上額・収益・資金繰り等の動き(前期に比べて)は、今期(平成27年4～6月期)と来期(平成27年7～9月期)で、いかがでしょうか。それぞれ該当する番号に○を1つお付けください。

(1) 売上額

前期(平成27年1～3月期)に比べて今期(平成27年4～6月期)の実績					今期(平成27年4～6月期)に比べて来期(平成27年7～9月期)の予想				
増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(2) 収益

前期(平成27年1～3月期)に比べて今期(平成27年4～6月期)の実績					今期(平成27年4～6月期)に比べて来期(平成27年7～9月期)の予想				
増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(3) 資金繰り

前期(平成27年1～3月期)に比べて今期(平成27年4～6月期)の実績					今期(平成27年4～6月期)に比べて来期(平成27年7～9月期)の予想				
楽	やや楽	変わらず	やや苦しい	苦しい	楽	やや楽	変わらず	やや苦しい	苦しい
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(4) 人手(従業員、パート、その他を含む)

前期(平成27年1～3月期)に比べて今期(平成27年4～6月期)の実績					今期(平成27年4～6月期)に比べて来期(平成27年7～9月期)の予想				
過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 現在の経営上の問題点として、重要度の高いものを3つ以内で回答欄にご記入ください。

1 売上の停滞・減少	16 工場・店舗・設備等の狭小・老朽化
2 人手不足	17 輸入製品との競争の激化
3 同業者間の競争の激化	18 仕入先からの値上げ要請
4 利幅の縮小	19 取引先の減少
5 人件費の増加	20 材料価格の上昇
6 人件費以外の経費の増加	21 親企業による選別の強化
7 代金回収の悪化	22 為替レートの変動
8 天候の不順・自然災害	23 商圏人口の減少
9 顧客・ニーズの変化・減少	24 技術力の不足
10 大手企業・工場の縮小・撤退	25 下請の確保難
11 大手との競争の激化	26 販売商品の不足
12 合理化の不足	27 その他()
13 地価の高騰	28 問題なし
14 駐車場の確保難	
15 販売納入先から(又はサービス料金)の値下げ要請	

回答欄

問4 今後の経営上の取り組みとして、重要度の高いものを3つ以内で回答欄にご記入ください。

1 販路を拡大する	16 不動産の有効活用を図る
2 新しい取引先を見つける	17 労働条件を改善する
3 新しい事業を始める	18 新たに店舗・工場・設備を増設する
4 既存事業で新商品・新サービスを開発(又は取り扱い)する	19 店舗・工場・設備の耐震補強を行う
5 品揃えを改善する	20 店舗・工場・設備の省エネルギー化を行う
6 商店街事業を活性化させる	21 既存の店舗・工場・設備を改修・改装する
7 宣伝・広報を強化する	22 IT化を推進する
8 技術力を強化する	23 不採算部門を整理・縮小する
9 情報力を強化する	24 その他()
10 人材を確保する	25 特になし
11 人材育成を強化する	
12 後継者を育成する	
13 人件費の見直しをする	
14 人件費以外の経費を節減する	
15 新たな資金調達先を見つける	

回答欄

問5 現在の貴社の経営状況について差し支えない範囲でご記入ください。

※収益の増減理由や取引先との関係など具体的にお書きください。

[特別調査] 「中小企業における人手の状況と賃金の動向」

問 1 貴社における、近年（平成 26 年 4 月以降）の人手（従業員、パート、その他を含む）の状況（過不足感）はいかがですか。該当する番号に○を1つお付けください。

近年の人手の状況			
1	過剰	3	不足
2	適正		

問 2-1（問 1 で 3 と答えた方のみ、お答えください）貴社では、人手不足により、業務上生じている影響はありますか。該当する番号すべてに○をお付けください。

人手不足により生じている影響（複数回答可）	
1	既存社員 1 人当たりの業務量増加
2	外注化の促進
3	取引先からのすべての受注が受け付けられない
4	人手不足による営業時間等の縮小
5	1 人当たりの業務量増加により退職希望者が増加
6	その他（ ）

問 2-2（問 1 で 3 と答えた方のみ、お答えください）貴社では、人手不足を解消するための対策を講じていますか。該当する番号すべてに○をお付けください。

人手不足を解消するための対策（複数回答可）	
1	新規に正規社員を採用
2	新規に非正規社員（※）を採用
3	人材流出を防ぐため、非正規社員を正規社員化
4	人材流出を防ぐため、賃金改定を実施（非正規含む）
5	人材確保のため採用予算を増額
6	その他（ ）

※ 非正規社員とは、パート・アルバイト・派遣として雇用している社員を指します。

問 3 貴社の正規社員と非正規社員の比率はどの程度ですか。該当する番号 1 つに○をお付けください。

正規社員と非正規社員の割合			
1	正規社員のみ	5	非正規社員のみ
2	おおむね正規社員	6	正規社員・非正規社員ともにいない
3	正規社員と非正規社員が半々	7	その他（ ）
4	おおむね非正規社員		

問 4 (問 3 で 6 以外を答えた方のみ、お答えください) 貴社における、近年 (平成 26 年 4 月以降) の正規社員および非正規社員の賃金改定状況について教えてください。正規社員、非正規社員それぞれについて該当する番号 1 つに○をお付けください。

賃金改定状況			
正規社員		非正規社員	
1	一時金(※1)増額とベースアップ(※2)	1	一時金(※1)増額とベースアップ(※2)
2	一時金の増額のみ実施	2	一時金の増額のみ実施
3	ベースアップのみ実施	3	ベースアップのみ実施
4	諸手当等の増額のみ実施	4	諸手当等の増額のみ実施
5	一切の賃上げを実施していない	5	一切の賃上げを実施していない
6	正規社員はいない	6	非正規社員はいない
7	その他 ()	7	その他 ()

※1 一時金…賞与を含むその場限り支給の金銭のこと。なお、これまで一時金を支給していなかったところを支給した場合も増額として回答してください。

※2 ベースアップ…基本給 (もしくは時給) 全体の底上げ。既存の定期昇給は含みません。

問 5-1 (問 4 で 1 または 2 または 3 を答えた方のみ、お答えください) 一時金の増額やベースアップ等の賃上げを実施した理由はどのようなものでしたか。正規社員、非正規社員それぞれについて、該当する番号すべてに○をお付けください。

賃上げを実施した理由 (複数回答可)			
正規社員		非正規社員	
1	従業員の定着・確保を図るため	1	従業員の定着・確保を図るため
2	業績向上の還元	2	業績向上の還元
3	消費税率引上げに見合う賃金の増加	3	消費税率引上げに見合う賃金の増加
4	同業他社の賃金水準を考慮	4	同業他社の賃金水準を考慮
5	その他 ()	5	その他 ()

問 5-2 (問 4 で 5 を答えた方のみ、お答えください) 一時金の増額やベースアップ等の賃上げを実施しなかった理由はどのようなものでしたか。該当する番号すべてに○をお付けください。

賃上げを実施しなかった理由 (複数回答可)			
正規社員		非正規社員	
1	業績の低迷	1	業績の低迷
2	従業員の雇用維持を優先	2	従業員の雇用維持を優先
3	仕入負担増	3	仕入負担増
4	取引先企業からの値下げ要求による販売価格低下	4	取引先企業からの値下げ要求による販売価格低下
5	同業他社の賃金水準も変化なし	5	同業他社の賃金水準も変化なし
6	設備投資や開発等に資金投入	6	設備投資や開発等に資金投入
7	その他 ()	7	その他 ()

問 6 人手不足状況および賃金水準について、差し支えない範囲でご記入ください。

お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。